



メディケア別府 通所リハビリ テーション

平成 25 年 6 月 26 日

利用者様と一緒に～手芸クラブの活動～

メディケア別府通所リハビリテーションでは、利用者様からのご要望が多かった手芸を取り入れるために手芸クラブを立ち上げました。利用中の空いた時間を利用してみんなでワイワイ楽しく活動を行っています。はじめは巾着袋やぞうきんなど馴染みのある簡単な作品からスタートしましたが、今回は少し難易度の高いマカロンケースの制作に挑戦したので報告します。

はじめはまず、布の準備です。布の柄を見ながら利用者様と一緒に布の裁断場所を決めて裁断します。（同じ布でも場所によって違う柄が出るので好みの場所を探します）

ファスナーは職員が長さを合わせて予め輪に縫い付けて、金具を付けた物を準備し、他の必要物品と自分で決めた布と一緒にして本人だけのマカロンケースのキットを作成しました。はじめは乗り気ではなかった方もいましたが、自分だけの好きな柄のキットが出来ると「やってみようかな」「どげんなふうかな」とわくわくして、早く使いたいと思われやる気になるかたもいらっしやいました。



基本は波縫いとコの字縫いで縫っていくのですが、小さな作品の為、細かい作業となりました。利用者様が指に針を刺したりしないか？途中で投げ出したりしないかな？と不安に思っていたのですが、みなさんベテランさんばかりで針を指に刺した利用者様は今のところおらず、各自自分のペースでちくちく進められていました。「指ぬきは？」「手縫いなら 番の糸じゃないといけん」と専門的なお話も飛び出し職員のほうがたじたじになることもありましたが、あるものでなんとかやっていただきました。

みなさん、ファスナーを付けるところが難しい様子でなかなかうまくいかず、外側だけつけようとしたり、ファスナーの近くを縫ってしまい、ファスナーが開かないなんてこともあり、やり直したりとみなさん苦戦され、「よ～こげん、難しいのみつけたな～」と言いつつ挑戦されています。一人ひとり身体状態も異なりますのでファスナー付けだけ手伝ったり、ファスナーを付けた後でこっそり手直しをしたりしていますがみなさん完成まで仕上げられています。

みなさん完成した物は、それぞれカバンや杖に付けて楽しんだり、電話用の小銭をいれて実用的に使ったりと活用されているようです。中にはご近所の人に「どこで売っている」と聞かれて、「自分で作った」といって驚かれたと嬉しそうにお話される方もいらっしゃいました

手芸クラブの準備には手間がかかりますが、利用者様に人と触れ合いながら物を作る喜びを感じていただけ、自分の努力を形として手にしてもらった感動を味わってもらえるよう今後もスタッフ一同お手伝いさせていただきたいと思えます。

マカロンケース（40mmのもの）

材料

表布 15×10cm

中布 15×10cm

キルト芯 15×10cm

厚紙 5×10cm

プラ包みボタン 40mm2個

玉付きファスナー12cm 1本

利用者様のやる気と職員の根気（これ重要！！）

作り方

インターネットで マカロンケース 作り方 で検索すると詳しく載っているので気になる方は調べてみてくださいね。

